

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すくすくランド			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 7日 ～ 2026年 1月 16日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 7日 ～ 2026年 1月 14日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との信頼関係・丁寧な情報共有	・口頭説明を通して、当日の活動内容や子どもの様子を具体的に伝えている。 ・「できたこと」「成長が見られた点」を必ずフィードバックし、前向きな共有を心掛けている。 ・月に1回、保護者と面談の機械を設けている。	・アンケート結果を職員間で共有・分析し、具体的な改善策を明文化する。 ・保護者同士の交流機会の検討（希望制）など、横のつながりの支援も視野に入れる。
2	小集団活動の工夫	・活動の見通しが持てるよう、スケジュール提示や視覚支援を活用している。 ・無理のない参加ができるよう、個別対応と集団活動のバランスを取っている。	・職員間で事例検討を行い、支援方法の統一と専門性の向上を図る。 ・学齢期（放課後等デイサービス）も見据えた集団活動の段階的ステップづくり。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングを実施していない	・個別相談や日々の助言は行っているものの、保護者支援プログラムとしての構造化された取組が不足している。	・職員がペアレントトレーニングに関する研修を受講し、基礎知識の習得を図る。 ・保護者ニーズを把握し、無理のない形での実施方法を模索する。
2	支援内容の体系化・標準化の課題	・活動内容は工夫しているが、体系的な年間計画やプログラムの構造化が十分ではない部分がある。	・支援内容のマニュアル化や事例共有の強化。 ・定期的な振り返り会議の実施。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		すくすくランド		公表日		年 月 日		利用児童数		11名		回収数		11	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応							
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11				新しく、とてもきれいだと思います。十分です。	広さを十分に活かした活動を今後も考えていきます。							
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11				子が困った際に、気づいて接してもらえる先生配置で安心できる。	十分な人数を配置できていると考えます。							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10			1	ワンフロアでシンプルな作りで、過ごしやすそう。								
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11												
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11				子どもにとって苦手な場面も共にチャレンジ、克服できるように向き合ってくださっているなど、いつも感じます。子の喜動について、気持ちを汲み取り、接してくださっているように感じる。	今後も、子どもたち一人ひとりに寄り添った支援を心がけていきます。							
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10			1									
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。	11				親の話も踏まえて、作成してもらっている。								
	8	個別支援計画には、「児童発達支援・放課後等デイサービスガイドライン」の「児童発達支援・放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11				子のことを理解してもらった上で、設定されていると感じる。								
	9	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10			1									
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9			2	毎日、活動が工夫されている。	保育士、児童指導員を中心に、今後も活動を考えていきます。							
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 放：放課後児童クラブや児童館との交流	6	1	1	3	園での生活も大切にもらえて、感謝。								
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	1											
	13	「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11												
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1	3	3	具体的に内容（出来事）を教えてください。 私が知らないだけかもしれません。	ペアレント・トレーニングは、現在行われておりません。今後必要があれば、実施を検討していきます。							
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11				毎日の迎えの際に1日の様子を詳しく伝えてくださるので、安心して預けられ、成長を共有できて嬉しい。 月1回の面談で、共有できている。								
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11				月1回の面談で、共有できている。	月に1回、面談の機会を設けていますが、十分な助言が出来ていないこともあるかと思っていますので、日々アップデートできるよ努めていきます。							
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10			1	日々、強く感じています。 気持ちを汲み取っていただけている。								
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	4	4	通い始めたばかりで、よくわからない。	今のところ、実施はされておりません。							
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11				気軽に相談させてもらっている。	気軽に相談できる環境づくりを、引き続き行ってまいります。また、いただいた相談に対して、迅速に対応ができるよう努力していきます。							

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	1	4	4	毎日の様子は、口頭で伝えてはもらっている。圖だよりのような写真etcはないが、見学ができていいる。 私が知らないだけかもしれない。	行事等については、今後も法人内のアプリにてお知らせしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5		1	5	避難訓練をしていると伺っています。	避難訓練は、毎月実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			1	避難訓練をしていると伺っています。 系列の園ではやっているけど、事業所の方は分からない。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	1		3	移動等、安全にできるように考えられているように感じています。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11				些細なことでも言ってもらえて（理由も含め）安心しています。	今後も、事故や怪我等については、お迎え時に報告をしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11				通い出してから、行くのが嫌という気持ちがなくなってきている。見てもらっていることに喜びを感じている。	今後も、子どもたちが安心して通える環境作りができるよう、職員一同努力していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	1			子が楽しいと行っていて、親として安心しています。 入学時は少し行き渋りがあったが、今は楽しんでいる。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	11				毎日楽しく通えており、大変感謝しております。	支援内容についても、アップデートしていけるよう、日々精進してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
すくすくランド		年 月 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1		作成されたものをしっかりと把握できていないので、努力をする。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	1		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	3		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	事前に1か月分の予定を一覧にしているので、良いと思う。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	毎週の打ち合わせで、子どもの様子を共有できて良い。	今の運営の仕方上、支援後毎回は難しいので、時間を作れると良い。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	1	4		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	1		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	3		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			